



学校と地域の連携・協働 の推進に向けて



『協力同心』

この言葉は、郷土の先人・新渡戸稲造が、晩年、ふるさと岩手への恩返しのために、県内各地で講演を行った際に、県南地区の農業に携わる人たちに残した言葉です。意味は、「心をつなげて、ともに共通の目標に向かって取り組むこと」です。

当時の日本は、大きな不況に見舞われ、特にも農村の暮らしは、大変苦しい状況でした。このような中であって、この稲造の言葉は、農業者の方々を元気づけ、明日への一歩を踏み出すにあたっての励ましになったと言われています。この『協力同心』の精神は、本県教育界においても、本県独自の教育運動である教育振興運動として脈々と受け継がれているように感じます。

さて、平成 27 年 12 月に、中央教育審議会から「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策」が答申されました。ここでは、これからの学校と地域が目指すべき姿として、「地域とともにある学校への転換」「子供も大人も学び合い育ち合う教育体制の構築」「学校を核とした地域づくりの推進」を掲げています。そして、学校と地域の連携・協働を通じて、地域ぐるみで未来を担う子供たちをはぐくみ、地域を創生する地域学校協働活動の推進を提言しています。

また、次期学習指導要領においても、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校は地域

との連携・協働をさらに推進することが重要であるとしています。

一方、平成 30 年 12 月には、「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」が、中央教育審議会から答申されました。これは、これからの地域社会を持続可能なものにするとともに、人生 100 年時代における個人の充実した人生を実現するため、社会教育の視点から地域が抱える課題解決を図る方策を審議したものであり、学びと活動の好循環の下で、「社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり」を推進することが提言されています。

本来、社会教育の目的は、「自己教育力の育成」「自治能力の向上」「コミュニティの形成」を図ることにありますが、学びにより自分自身を高めしていくことは、まさに「人づくり」につながることです。また、自治的な学習や活動を行うことは、「つながりづくり」を意味します。そして、コミュニティを作ることは、「地域づくり」そのものと言えます。この度の答申は、社会教育を改めて見つめ直し、原点回帰を図ったものと言えます。

そして、この「社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり」推進にあたっての具体的方策の一つとして、学校と地域の連携・協働が示されており、これからの社会教育が担うべきひとつの役割としています。つまり、地域の大人の学びの成果を子供たちの学びや教育

環境整備等の支援活動につなげ、活かすためのコーディネート機能や基盤づくりが社会教育に求められていると言えます。連携・協働を通じて、学校と地域がともに元気になるためには、「開かれ、つながる社会教育」への転換が必要となっています。

このように、学校教育と社会教育の両方から、学校と地域の連携・協働推進が求められています。言葉を換えれば、学校教育と社会教育の連携・協働とも言えます。

本県における学校と地域の連携・協働については、すべての公立小中義務教育学校において、それぞれの学校や地域の実情に応じて様々な取組がなされています（グラフ1）。また、保護者や地域住民の学校支援活動状況についても、「よく参加している」や「参加している」の肯定的回答が高くなっており、学校・家庭・地域の連携が進んでいることが分かります（グラフ2）。

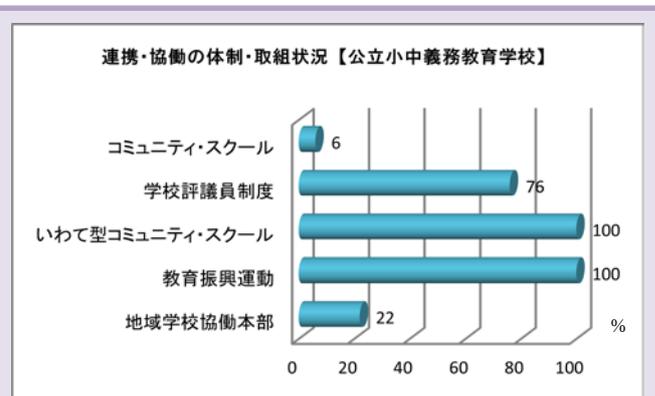
一方で、当生涯学習推進センターの調査研究によりますと、学校と地域の連携・協働を推進するにあたって課題を感じている市町村は、約8割にのぼっています（グラフ3）。特に、学校に関しては、「学校・教職員の理解が不十分」「教職員に行う余裕がない」等の課題があげられています。一方、地域や社会教育施設に関しては、「教育振興運動との関連が不十分」「地域住民の理解が十分でない」等が課題としてあげられています。

これらの様々な課題に対し、当推進センターでは、学校と地域の連携・協働の在り方に関する研究に取り組んできたところであり、その成果を「いわての生涯学習 2018-研究報告 Vol121-」に集録いたしました。また、県教育委員会においては、平成31年1月に、地域と学校の連携・協働の充実を図るために、「地域と学校の体制づくり」を参考資料として作成したところです。両資料とも、当推進センターHP「まなびネットいわて」に掲載していますので、活用いただければと思います。その上で、これらの資料が、それぞれの学校と地域の連携・協働推進の一助になれば幸いです。

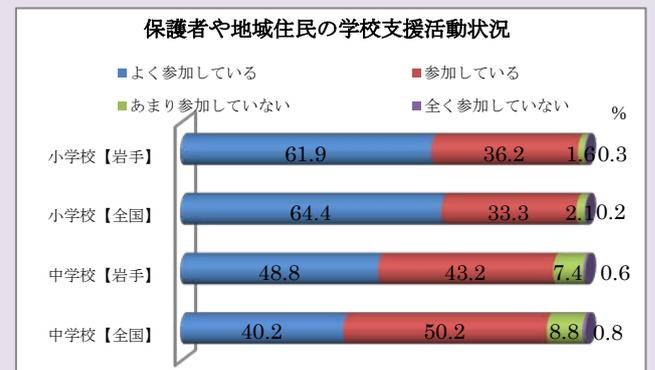
学校の教職員は、いずれは転勤してしまいますが、新鮮な息吹を運んで来てくれる風のようなものです。そして、母なる大地のような地域、太陽のように温かい家庭。このような学校・家庭・地域の中で、子どもたちは健やかに育まれます。このような環境を持続できる学校と地域の連携・協働の仕組みを作っていきたいものです。

学校と地域が心をつなげて、ともに共通の目標に向かって取り組むことを通じて、学校も、地域も、より一層元気になりますよう、まさに新渡戸稲造の言葉にある『協力同心』の心で。

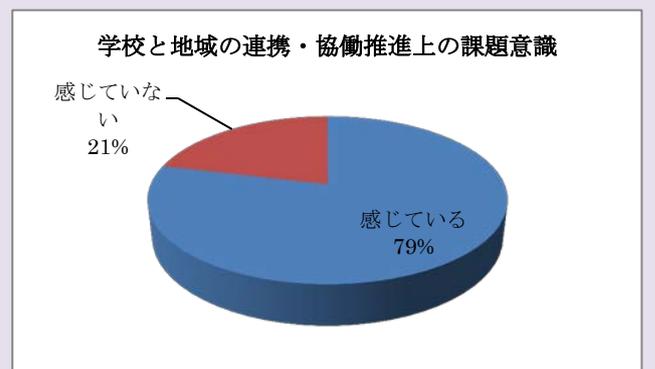
(所長 藤原 安生)



【グラフ1】 県教委「学校と地域の体制づくり」(H31)



【グラフ2】 文科省「H30 全国学力・学習状況調査」



【グラフ3】 県立生涯学習推進センター

「いわての生涯学習-2018 研究報告 Vol121-」



県立生涯学習推進センターでは、平成31年度も市町村の生涯学習・社会教育関係者、有志ボランティア、学校教育関係の皆様のお役に立つ研修会を実施していきます。是非とも下記を参考に来年度の皆様のスキルアップにお役立て下さい。 ※詳細は、ホームページを御覧下さい

職 …主に市町村・施設・関係職員を対象としています。 **指** …主にボランティア活動者・有志指導者を対象としています。 **新** …H31年度新規事業です。

職 新任生涯学習関係職員研修講座
5/16 (木)・17 (金)

生涯学習・社会教育の推進に関する基本的事項及び職務に関する研修



職 家庭教育・子育て支援担当者研修会
5/20 (月)

家庭教育支援・子育て支援にあたる地域人材の活用や連携の充実等を図る市町村担当者のための研修



職 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座
5/28 (火)

社会教育指導員・地域づくり関係職員等として必要な専門的知識・技能に関する研修



職 事業担当者のための評価研修会
6/14 (金)

社会教育における事業評価の考え方と実践的な活用方法に関する研修



指 読書ボランティア研修会
6/18 (火)

読書ボランティアの資質向上と読書活動の推進を図るネットワークの形成に関する研修



指 放課後子ども総合プラン指導者合同研修会
第1回 6/11 (火) 第2回 9/9 (月)

「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の指導者等の情報共有や連携の促進、資質の向上に関する研修



職 広報スキルアップ研修講座
①7/4 (木) ②7/5 (金)

魅力的かつ効果的な周知・広報活動に関する研修



職 コミュニケーションスキルアップ研修講座
8/1 (木)

生涯学習関係職員等に不可欠な実践的対人スキルの向上を図る研修



職 学校と地域の連携・協働のための研修会
8/8 (木)

学校・地域関係者を対象に、地域学校協働活動の理解を通して学校と地域の連携の充実を図る研修



職 事業プログラム企画運営研修講座
8/30 (金)

公民館や地区センター等で実施する事業プログラムの企画運営に関する研修



指 子育て支援活動交流研修会
9/5 (木)

家庭教育・子育て支援関係者の資質向上とネットワーク形成に関する研修



職 センター長・公民館長・主管課長等セミナー
9/10 (火)

生涯学習・社会教育及び地域づくりを担う施設長・担当部局長の施策推進に関する研修



指 子どものまなびを支えるセミナー
**①沿岸南部会場 9/11 (水) ②センター会場 9/20 (金)
③県北会場 10/25 (金) ④宮古会場 11/19 (火)**

市町村等の青少年教育担当者の資質向上とネットワーク形成を図る研修



指 復興支援セミナー
**県北会場 10/11(金)
沿岸南部会場 11/21(木)
宮古会場 12/6 (金)**

沿岸被災地において、学校と地域の連携を図る事業や地域づくりに活かすファシリテーションの手法を学ぶための研修



指

子育て・親育ちサポートサロン
宮古会場 5/30 (木) 沿岸南部会場 6/28 (金)
県北会場 8/27 (火)

子育て中の保護者等に対して、家庭教育・子育てに係る学習機会を提供するとともに、地域の子育て支援関係者とのつながりをつくる研修



職

子育て・家庭教育相談担当者研修会
第1回 10/1 (火) 第2回 2/17 (月)

子育て支援・家庭教育支援にあたる電話相談等職員及び保護者支援にあたる子育て支援人材のスキルアップを図る研修



新指

家庭教育・子育て支援実践セミナー

第1回 8/22 (木) 第2回 9/30 (月) 第3回 10/21 (月)

市町村の実態やニーズに応じ、家庭教育支援に関する実践的な事業を協働で企画・運営するもの(当センターの研究に関連)

新職

人づくり・地域づくり関係職員等研修講座

中部会場 7/12 (金) 県南会場 10/4 (金) 盛岡会場 11/29 (金)

地域づくりを担う地区センター・公民館職員のスキルアップを図る研修

指

地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会
第1回 9/26 (木) 第2回 11/15 (金)

学校の地域連携の推進とそれを担うコーディネーター等の資質向上に関する研修



職

岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会
6/20 (木)・21 (金)

A V L運営上必要なメディアに関する専門的識・技術に関する研修

随時研修 **通年** ※随時御相談に応じますのでお問い合わせ下さい。

生涯学習・社会教育に係る団体が、当センターの職員、施設・設備を活用して随時実施する研修

出前研修(講師派遣) **通年** ※随時御相談に応じますのでお問い合わせ下さい。

生涯学習・社会教育に関する事項及び教育振興運動の推進に関する事項等について、市町村や関係機関等の要請により職員を派遣して実施する研修

放課後児童支援員認定資格研修 ※放課後児童健全育成事業に従事する方の資格取得のための研修

盛岡会場 8/20~21、11/26~27 県南会場 6/25~26、9/24~25 沿岸会場 9/3~4、11/12~13 県北会場 7/23~24、10/8~9

放課後児童支援員として必要な基本的な生活習慣の習得の支援、自立に向けた支援、家庭と連携した生活支援等に必要知識・技能を習得するための研修

キャリア教育支援事業 高等学校卒業程度認定試験 8/6 (火) ~7 (水)・11/9 (土) ~10 (日)

文部科学省の依頼を受け、様々な理由で高等学校を卒業できなかった者等の学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験 ※申込は文部科学省まで

岩手県生涯学習推進研究発表会「岩手の人づくり・地域づくりフォーラム 2019」
2/6 (木) ~2/7 (金)

本県生涯学習・社会教育の推進に係る提案として、調査研究事業の成果等を発表



岩手県立生涯学習推進センターは、平成30年度(2月末現在)主催事業3,136名 随時・出前研修2,324名 施設利用6,191名 視察22名 合計11,672名の方々にご利用いただきました。来年度もさらに研修内容を充実させ、皆様の御参加をお待ちしています。

「岩手県立生涯学習推進センター情報」第99号 / 編集・発行 岩手県立生涯学習推進センター

〒025-0301 花巻市北湯口2-82-13 電話 0198-27-4555 FAX 0198-27-4564